資料２－３

高山本線の現状について

2021年3月
西日本旅客鉄道株式会社

線区概要

線区	高山本線（JR西日本　運行区間）
区間	富山～猪谷
営業キロ	36.6km
駅体制	9駅（富山駅除く）
行き違い駅数	6箇所　（猪谷、笹津、越中八尾、千里、速星、西富山）
車両数	キハ120形　12両

年月	主な出来事
大正9年	岐阜 － 各務ケ原間　開業
大正10年～昭和6年	順次、飛騨萩原まで延伸開業
昭和2年	富山 － 越中八尾間　開業
昭和4年	越中八尾 － 笹津間　開業
昭和5年	笹津 － 猪谷間　開業
昭和7年	猪谷 － 杉原間　開業
昭和8年	杉原 － 坂上間　開業
昭和8年	飛騨萩原 － 飛騨小坂間　開業
昭和9年	飛騨小坂 － 坂上間　開業 岐阜 － 富山間が高山本線となる
平成16年10月	台風23号により高山～猪谷間において橋梁等流出（ひだ号運休）
平成18年10月	高山本線活性化社会実験（以下、社会実験）が開始（猪谷～富山間において増便）
平成19年	社会実験の一環としてラッピング列車が運行開始 平成16年より台風災害で運休となっていたひだ号が角川～猪谷間復旧により運行再開
平成20年	社会実験の一環として臨時駅婦中鵜坂駅が設置 社会実験による高山本線増便について主な実施区間を越中八尾～富山間に変更
平成23年	社会実験について富山市主体の高山本線活性化事業（以下、活性化事業）として継続 高山本線増便について運転本数を見直し
平成26年	臨時駅婦中鵜坂駅を常設化
平成28年3月	ダイヤ改正にて、特急ひだ時刻変更
平成30年7月	平成30年7月豪雨に伴い、飛騨金山～下呂、飛騨古川～猪谷間運転見合わせ（11月21日に全線運転再開）

高山本線の現状（駅別乗車人員）

駅名	2005（H17）年度（人/日）			2010（H22）年度（人/日）			2019（R1）年度（人/日）		
	定期外	定期	合計	定期外	定期	合計	定期外	定期	合計
西富山	74	196	270	101	225	326	106	283	389
婦中鵜坂				10	163	173	27	216	243
速星	241	673	914	264	720	984	296	907	1, 203
千里	75	283	358	80	335	415	67	313	380
越中八尾	268	629	897	258	613	871	207	784	991
東八尾	2	32	34	2	26	28	3	37	40
笹津	26	156	182	24	115	139	20	80	100
楡原	3	51	54	3	46	49	3	31	34
猪谷	34	46	80	23	36	59	239	10	249
西富山～越中八尾	658	1, 781	2, 439	713	2, 056	2, 769	703	2, 503	3, 206
西富山～猪谷	723	2, 066	2, 789	765	2, 279	3, 044	968	2, 661	3, 629